

週寫眞
報

編輯部報情閣内
ンセ十・號七十五第・日二廿月三

昭和二十二年三月二十二日 第三十五七號

雲の上陸演習



海防

雪の上陸演習白

大湊要港部の精鋭



敵陣の一角へ急襲。グツグツしては敵陣の見舞を受け、命を託すスキーはき操作は三十秒で終る。



雪の敵前上陸！スキーは有力な武器だ。スキーとももに突進むのだ。



四国海に漂着され、わが国の防備。陸海軍の戦術地味は勇猛果敢に敵を攻撃し敵国内を戦場としたければならぬ。攻撃の難事とされ従来は世界戦史に稀な敵前奇襲上陸は神速果敢にしかも陸海軍の緊密な共同作業の下に支那事變中、皇軍の手によつて行はれて来た。わが軍の吹めたその難たる成功は皇軍の烈々たる攻撃精神の發露によるのは勿論であるが、これは戦区を敵国内に求める地理的環境から地味られたものでもあらず。敵前の地形は敵を推定することの出来ないものと同様、多種多様で的確かつやうな熟練あり、膝を没する泥濘あり、白粉々の雪原もあらう。

雪の敵前上陸！ わが戦史には未だないが、いま一面の雪原にスキーをつけ、敵陣の急襲上陸演習を行ふ青森縣大湊要港部のわが海軍の精鋭は日本海をわたつて吹きつけるシベリヤ風を征服、雪に埋れて水陸兩棲の戦術技術を練つてゐる。三月九日の海軍大湊要港部の航空隊、防備隊に加はつた〇〇名の〇〇名は陸奥海上の母船から軍装もキリッパと軽く、スキーを背にした諸兵は海上をたてこめる潮溜をすかして假設敵地同要港部スキー場を脱み、ランチに飛び移つた。進め、命令一下、快なエンヂンの音ともども敵前に急襲した〇〇名の諸兵はスキー片手に雪原の浮腫をよちよち、目にも止らぬ程の速さでスキーをつけ、兵は早くも巧みに滑走、地物を利用して、ストラックを交又してはそれに就き猛烈な攻撃に移り、ここに東、西兩軍の壯烈な攻防戦が展開した。翌十日同要港部部隊のスキー戦術式は要港部大湊要港部司令官星野守一中將、百武大將等將校出席の下に釜山同要港部スキー場で舉行された。スキーばきの戦術官星野中將は諸兵を鼓舞、終つて行列行進に終つたが、銀装に動くスキーはきの水兵服は異色あるものであつた。



敵影は戦界にない。各分隊の戦術行進は「進め」の命令とももに進め。

大湊要港部偵察隊
撮影・内閣情報部
大湊は既になつた。精鋭は雪上に放散、前進命令を持つ。將校の観測の眼は一點に焼きついた。





雪上の陸演習

敵の散兵線は視界に浮び上った。攻撃隊は地物を利用して、ストークを交又して銃を委託、攻撃の火蓋を切った。

スロープを降つて来た側面上陸隊との聯絡はとれた。敵前上陸は成功した。



無味をほらむ雪原は冷く牙をかへる。大樹に據る戦術兵の視界ははるはる展けてゐる。

粗林の陸に勢揃ひした上陸隊は第二段の攻撃に移る。隊長の攻撃命令は雷として力強い。





スキーばきで諸兵を閲兵する
観閲官星中將、要港部スキー隊の志氣は雪晴れの空に
高く。

都報情閣内・影攝



白銀上に軍旗は輝として
輝き響かたる喇叭の音といも
に觀兵式は行はれた。

大 湊 ス キ 一 觀 兵 式



スキー隊の分列行進はカー
ヴも巧みに「頭ら右」の號令
に滑りながらの教習も鮮やか
である。



距離も、間隔も廣くスキー
隊の整列



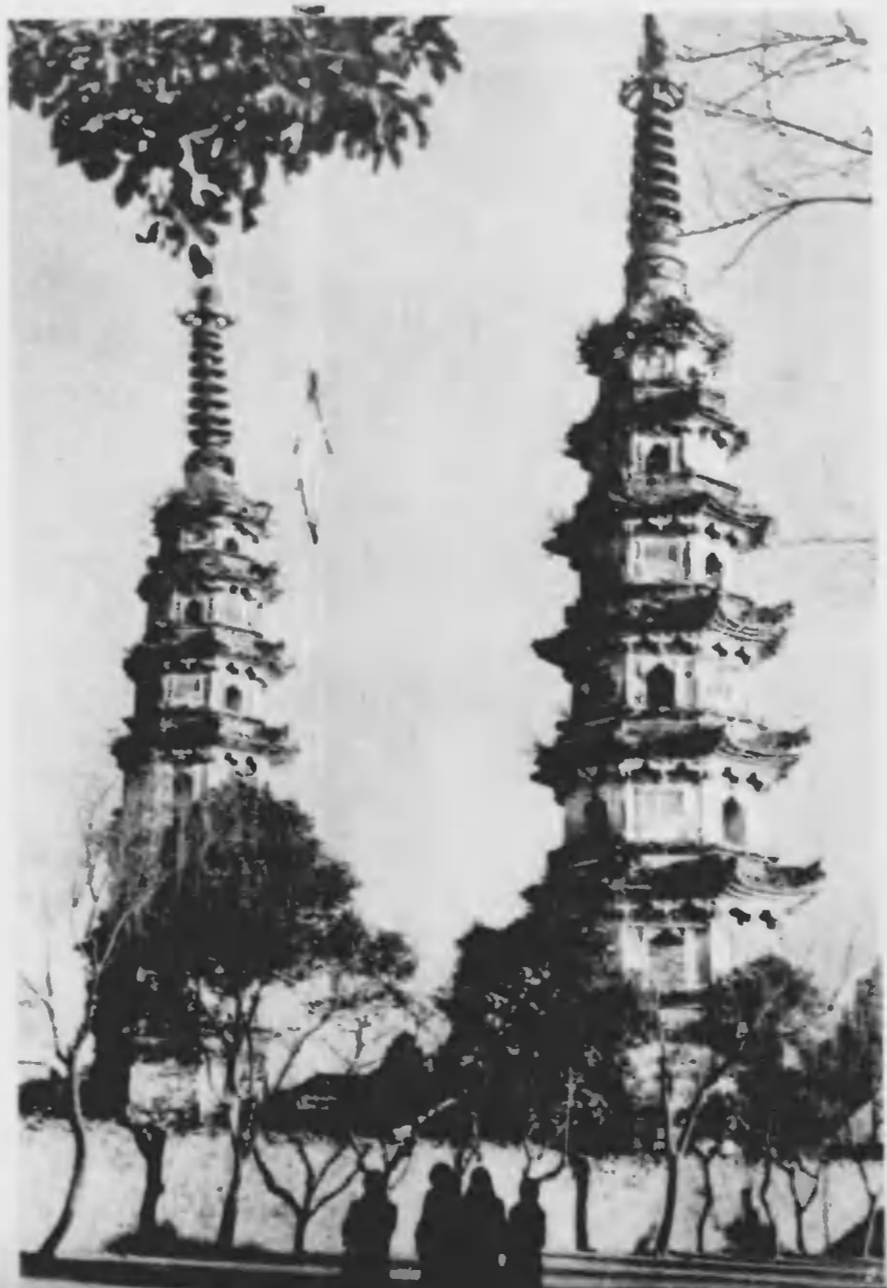
↑ 城内を縦横に走る運河はその長さ五十キロにも及ぶといふ。舟の音ものびやかに行き交ふ舟の敷に兩岸の橋脚も亦將に静をふかうとしてゐる。



撮影 上海プレス・ユニオン

↑ 夕陽ははるか太湖の彼方に沈まうとしてゐる。夕餉の仕度であらう、手籠をさげながら池畔に下りてきた。たがは警備の勇士が二人又手綱で魚を掬つてゐる。

水ぬるむ蘇州の春



□ 太極橋を一氣にかけ渡つてきて向ふ岸のお友達と『さようなら』の微笑みを交す娘の明るい瞳。彼女は雲海(前装)と水晶の耳環の古い型をすてた近代感であつた。

□ 城内の古刹北寺に立ち竝ぶ七重の塔。いまから八百五十年前、時の佛徒が信仰に燃えて建てたといふ古塔に風も陽射しも柔かい。



— 橋名を知らず、石欄に倚りつゝ河水をみる。日光、微風、水色肥頭の鏡に似たり。兩岸皆粉壁、水上の影揺けるが如し。橋下を通ぐるの舟、まづ赤燈りの船首見え、次に竹を編みし船首見え、棹の甲冑耳にあれど、船尾既に橋下を出づ。桂花一枝流れ来るあり、春愁水色と共に深からむとす。(赤川龍之介)

— 滙滂たる太湖を西に望んで、水と白壁と橋脚の鏡に包まれる時の都蘇州、こゝにも日支協和の春が立ち戻つてから早やふた年、目にも鮮やかな日章旗が運河の水に映つて、春の陽が輝々と白雲に照り輝いてゐる。驢馬の蹄が響々と音を立て、通る石壁の狭い街路に店舖が賑やかに展げられ、反り橋の見える土堤からは船を抱えた乙女たちの嬌み草唄が長閑かに流れを渡つてくる。

— 春訪れた水の都蘇州、その平和に明け暮れる船の様な姿に、礎石と散つたわが勇士の影もいま静かに微笑んでゐることだらう。



満洲国、留置、西園等水の都にはまた名園が多い。きれいに澄んだ泉水を流して庭下が走り、亭が浮いてゐる。橋に倚つて静かに煙草をくゆらす大人の影がくつきりと水に映る。

水めるむ蘇州の春

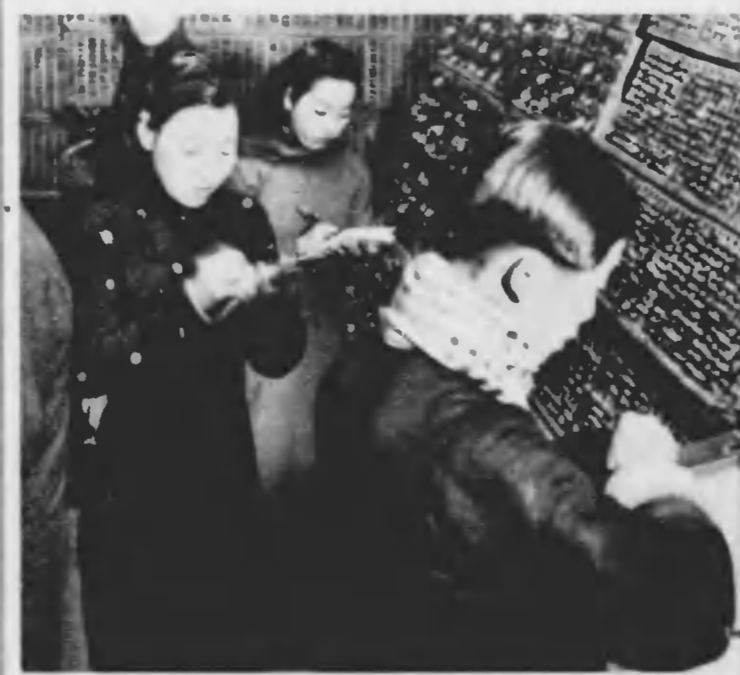
留置の午さがり、母親につれられて今日一日を静かに遊ぶつもりで、懐疑にいつこからともなく聞える胡弓の音が淡い春意を呼ぶ。



蘇州に學校が再び開かれてからは青少年たちも練習復習に忙しい。しつかり勉強して、新しい支那は彼らの手で建設しなければならぬ。

ガラス窓にあたる陽も暖か、夫解睡じく茶を啜りあふ楽しい喜劇のひととき、ふと、あの暴虐な抗日軍が原も荒々しく闖入した時のことを思ふ。あの頃この子はまだ生れてゐなかつたね。随分心配したものだつたが……

新聞の活動も目覚ましくなつた。かつての赤い活字も、いまは日支和協、東亞新秩序建設の先導となつて活潑に拾はれてゆく。



海州入城

海州の陥落は、徐州方面の包圍作戦の進展に伴って、三月四日、手飼ひの水牛を牽き、砲車輻重車運搬のお手傳ひに加はつた。



□ 又水路海州に向ふが部隊にはジャンクを提供した支那人が勇躍自ら手をさし、櫓を操つて協力する。



かねて新安嶺以東の臨海沿線に運動をつけてゐた敵約八萬の總點海州は、三月四日わが軍の六方面からする果敢な包圍作戦によつて陥落した。

昨年五月わが徐州作戦に破れた敵の一部は江蘇省北部へ敗退したが漸次態勢を整へ最近于學忠を總司令に約八萬の兵力を以て中央と連絡を保ちつゝ海州を本據としてわが治安工作を勵し、北支、中支政権の連絡を遮断すべく策動してゐたものである。

海州は臨海線の起點、東は連雲港に連り海陸交通の要衝に當る。この地方一帯は昔から海州鹽の産地として有名で年産六百萬ビクル、關稅收入だけでも從來年額三千萬元に上り、國民政府の重要な財源であつた。また米、高粱、大豆等の農産物も豊かて、連雲港から盛んに輸出されてゐた。

わが軍の海州攻陥は蔣政権からその重要財源を奪ひ去ると共に、臨海線の回復によつて北支南部の石炭輸送に經濟開發に大きな役割を果すことになり、又海州攻陥の結果臨時、維新兩政府を接合する開封以南の地境は確保されたわけで、北支の政治經濟建設工作はこれを轉機として更に一段の飛躍を遂げることにならう。



東西南北、六方面から陸海空相呼應しての包圍作戦は見事成功、作戦開始から僅かに一週間にして敵はかなはじとみて城内外に火を放つて逃走、わが空軍、機械化部隊の好箇の餌食となつて掃蕩した。

□ かくて三月四日海州城頭にはわが陸海部隊の天を搖がす萬歳の歡聲が響つた。

撮影・同盟通信社映畫部



るくつを鐵で機造製トシメセ

商工省



鐵鋼の原料と、極細の塊を溶解する一石二鳥の名案。セメント製造で鐵を作らうといふ時局下による新しいエピソードである。

車馬費材として最も重要なもの一つである。セメントで多く生産するといふことは現在のわが國に取つて非常に必要なことである。が、從來鐵鋼の製造には、煉鐵といふ大きな設備が必要で、日本鐵鋼を助め、各製鐵會社でも大々増産の計畫をたて、著々工作を進めてゐるが、何分にも其の資金、原料を要する上、完成までは少くとも二年乃至三年といふ長月がかかるから、今、急務の間に合はないのである。何か案はないからか。ここにセメント製造の副産物を利用する所謂副産鐵法（パッセイ法）が時代の曙光を浴びて登場したのである。

セメント製造で使用する鉄鋼の副産物はフランスの學者、パッセイ(Passet)氏の發明したものであるが、元來セメント製造の原料は石灰石、粘土、鐵屑及び還元用炭である。煉鐵製造の原料も亦鐵屑、石灰石及び還元用炭である。パッセイ氏の發明はこれにヒントを得たもので、而もこの製造法によれば、煉鐵による副産物には適しないやいなやな材料（鐵鋼の屑）を硫化鐵屑（青銅屑から副産物を抽出した塊りの製品同様の塊）からも立派に及質の鉄鋼を製造することが出来る。このパッセイ法はスペイン、バルセロナ附近のアストランドセメント會社が始めて試され、鐵鋼は一、日約五十トン位の鉄鋼を製造してゐたのである。

わが國でも数年前からこの研究が試みられ、現に青森縣大湊ではこの方法による工場が建設され、附近に多量に埋蔵する砂鐵の採取を計畫してゐる。而して、わが國のセメント會社は好況時代の設備増設と、最近の土木建築の熱狂によつてセメントの消費が激増する五割以上の増産を知行つて、運轉休止の設備も多數に及んでゐるが、これらの設備は十分な改造によつて鉄鋼製造用に転用させることが出来るのである。この方法による鉄鋼試験の實際は内閣に附けられてゐる科學調査會の

砂型鑄込



取鍋



鉄鐵

```

    還元用炭
    石灰石
    ↓
    乾燥 ↓ 混合 ↓ 貯溜 ↓ 運搬爐
    ↓
    加熱 → 用出炭
    ↓
    加熱 → クリア ↓ 冷却器 ↓ 分離器 ↓ 磁石 ↓ 磁鐵屑 ↓ 貯蔵庫
    ↓
    磁鐵屑 ↓ 取鍋 ↓ 砂型 ↓ 鑄造 ↓ 鉄鐵
    
```

廻轉爐



客中によつていよいよ本格的となり、若工商の指導監督の下に大阪製セメント、秩父セメント、浦野セメントの三社で昨年十月から實施し、著々その効果をあげ、既に一、五〇〇トン餘の鉄鋼が製造された。全国的セメント業者はその賛賞を促すことも遅くはないと思はれる。

この方法の原理は、副産物から還元した鐵屑（現在は主として硫化鐵屑を使用してゐる）と還元用無炭炭又はコーラス粉及び石灰石を適當の割合に混合して流込み、下部からは微粉炭を燃焼させて溫度を一四五〇—一五〇〇（攝氏）に上げると、混合した鐵屑によつて鐵屑は還元されて塊鐵となり、石灰石は塊鐵として塊中の不純分を吸収し、セメントの原料たるシリコンカーシとなるのである。

即ちこの方法によつて堆積した鐵屑と還元シリコンカーシが出来る際、その出来高は大體今迄の試験によれば鉄屑一対シリコンカーシの割合である。副産物は塊鐵で包まれた直徑二五—三五、長さ五〇—七〇センチメートルの耐火煉瓦で裏付してあり、セメントだけを製造する場合である。シリコンカーシは塊の下部から送り出されるのであるが、鐵鋼製造の場合は塊の下部から五米位のところへ「ラムリング」といふ塊を作り、こゝで堆積した鐵屑を止め、その部分の塊の横断面（直徑約二十厘米位の穴を開け、塊が廻轉するに従ひその穴から流れ出る塊塊を取鍋に受け、これを砂型の中へ鑄込むのである。一方シリコンカーシは「カムリング」を越えて塊の下部から出ることはセメント製造の場合と同様である。

この方法によつて製造された鉄鋼の成分は、大體炭素三・七—四・五%、珪素〇・〇五—〇・一%、マンガン〇・〇五—〇・一%、硫黄〇・〇一、磷〇・〇一、銅、砒、鉛等の不純物の含有の少いことであり、原料の關係で銅分が高いが今後各種の鐵屑を混合使用した場合は銅分も下り非常に優良な鐵鋼が製造されるであらうと思はれる。

撮影 内閣情報部



佛陸軍のスキー演習
フランス陸軍の山岳スキー選抜隊は二月中旬、佛伊州境モン・ジュネーグル峠でゼイ文相、リヨン軍司令官、官トウシヨウ特軍等臨席の下に華々しく雪中行進を履行した。寫眞は海拔千八百六十米の高地に連軍中の歩兵百五十九聯隊スキー偵察班。



ベルリン国際自動車展覧會
一九三九年年度國際自動車展覧會は二月十七日ベルリン、カイザールパルクで各國から最新式の乗用貨物自動車、自動自転車、オートバイ、牽引車等を集めて華々しく開かれた。ヒットラー總統はこの日ドルフミーラー交通相、リッパント外相、ゲッペル空相等閣僚と共に開會式に臨み、目下著々進捗中の自動車造終建設計画とともに自動車工業が國防上産業上如何に重要性を持つべきかを強調、數千の聽衆に對して一編の演説を行った。上はチェコスロバキヤ自動車博覧會の自動車を、下は陳列の裝甲自動車と戦車。



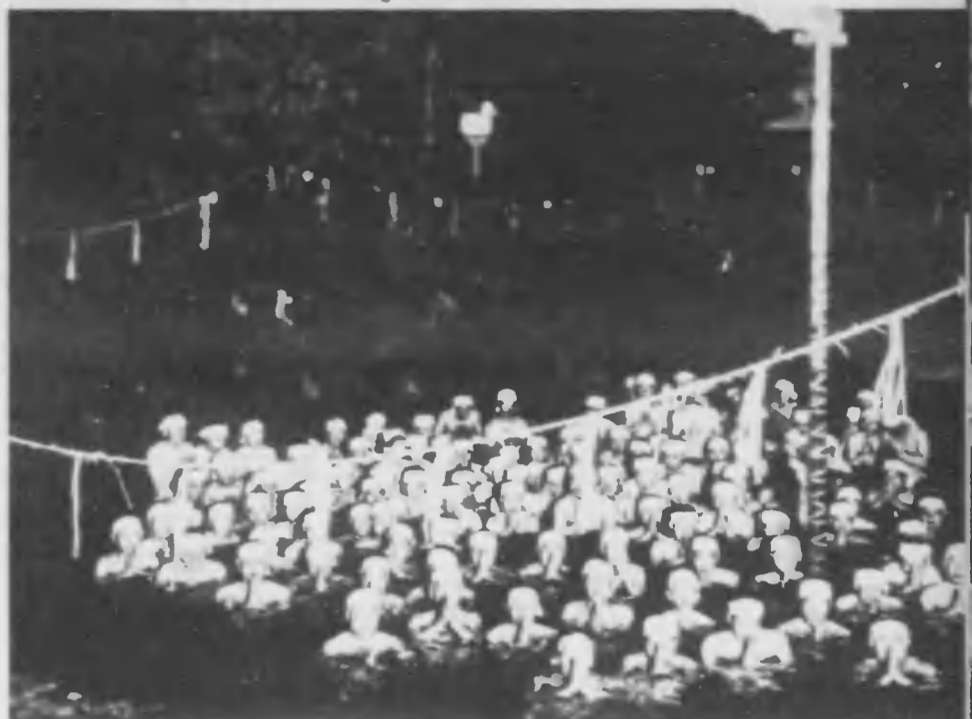
フランス海軍の掃蕩
地中海、大西洋の緊張に備へて先月フランス海軍はブレスト軍港を出發、攻防演習を展開したが、パンマルタ岬で夜間猛演習の際、駆逐艦「ビゾン」は巡洋艦「シヨルジュレイグ」と衝突「ビゾン」は艦首をもちやくちぎりに粉砕され二十數名の死傷者を出した。



軍艦協會

読者のカメラ

寒中水浴
大阪府北河内郡 藤田 猛
大阪府北河内郡藤田村長門は、同郡北河内郡の修善寺西道場にて修善寺を修した。若者に懇切な生徒は補ひの手拭で向鉢巻をキリリと結び深夜の寒中水浴に汗を流すみそきを行つた。押合祭に武運長久祈願



写真週報(兼轉載)
昭和十四年三月二十日印刷発行
内閣情報部
内閣印刷局
東京市墨田区大塚町

軍用犬の訓練
東京市生田區 關島源雄
上野動物園で軍用犬訓練の公演が行はれた。當日は御覽の通り高脚の馬車を見事飛越えた軍用犬がヤンヤと見物人の喝采を受けた。

大慶祭の新願
大津市 石山秀男
名刺大津の石山寺では男爵尾重主が大導師となつて一山の僧及び三百名の行者は炎上する大慶祭を演じて卓草の武運長久、敵滅伏の祈願をした。



見よ!!
時事年鑑の威容
昭和十四年版
理想的な年鑑・経済的年鑑

るれ入にコバタ
告廣ド一カ

贈 説明書
呈



効果的 確な
カード 廣告の 御利
用をお 奨め致 します
御照會は 最寄の 地方
専賣局又 は左記へ
東京丸の内
大藏省 専賣局
販賣部 廣告係
電話(23) 二四一—二四六
丸の内(23) 二四一—二四六

社 信 通 盟 同 法 社 所 行 發 り 有 = 店 書 國 全 版 年 四 十 和 昭
番 〇 〇 〇 五 八 京 東 座 口 替 振

見よ!!
時事年鑑の威容
昭和十四年版
理想的な年鑑・経済的年鑑

「時事年鑑」は凡ゆる年鑑と百科辭典を一
筆縮した我國唯一の綜合大年鑑であります。
の内容は今更中すまでもなく飽く迄も「時事年
鑑」二十年の傳統を生かすと共に本社獨特の組
織と完備せる通信網によつて資料の豊富、統計
數字の正確を誇り得る最新のものとして確信致しま
す。「昭和十四年版時事年鑑」は政治、外交、軍
事、財政、經濟、交通、労働に、更に文學、美
術、スポーツ等に、事變下日本の凡ゆる實相と
國際非常時局の情勢を克明に記録しつくしたも
ので、總ての年鑑中の王座「標準版」の自信を
以つて世に贈るものであります。敢へて銀行、
會社、工場學校は勿論御家庭にも是非一部を御
備へになる様お奨めする次第であります。

定 價 金 二 圓 五 拾 錢
送 料 地 方 三 十 三 錢
外 海 六 十 六 錢
=い さ 下 込 申 御 時 即 日 本 =
(京 東 座 口 替 振 は 又 局 社 支 社 本)
い さ 下 用 利 御 を 〇 〇 〇 五 八

實 際 智 識 の 源 泉
萬 戶 必 備 の 百 科 全 書
一 冊 凡 是 悉 備 大 年 鑑
一 冊 凡 是 悉 備 大 年 鑑
一 冊 凡 是 悉 備 大 年 鑑

東京週報 昭和十四年三月廿二日発行 第六十七號

強い殺菌・薬効作用をもつ クラブ歯磨



この驚異的殺菌力

結核菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
肺炎双球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
大腸菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
葡萄球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
連鎖球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
チフス菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
コレラ菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
赤痢菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
傷寒菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
副傷寒菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅
コレラ毒素	完全死滅	完全死滅	完全死滅
赤痢毒素	完全死滅	完全死滅	完全死滅
傷寒毒素	完全死滅	完全死滅	完全死滅
副傷寒毒素	完全死滅	完全死滅	完全死滅

クラブ歯磨に應用せる殺菌劑
ヨロイドチモール(併用劑の威力)

一〇〇〇〇倍力至五〇〇〇〇倍殺菌液ニテモ
無菌ノ種類ニ依リテハ完全ニ死滅ス

八大特許の化学作用！
 単純な歯磨ではあらず、
 クラブ歯磨は八大特許をもつ
 ・薬効歯磨です。単にその磨き作用だけでは歯を
 やうな歯にし、ムシ歯、口臭、歯肉炎等を
 防ぐのも、この化学作用あればこそです。

内閣印刷局印刷發行

(郵信) 報運・A4規格定額は3人の資本